

いしかわ気候変動適応センター通信 第9号

白山の生態系と気候変動について

石川県の最高峰である白山（標高2,702m）には、高山帯に適応した植物や昆虫など、特有の生態系が見られます。しかしながら、これらの多くは氷河時代からの遺存種で、もし温暖化が進行した場合、生育適地がなくなることが懸念されています。



白山弥陀ヶ原と白山山頂



石川県の郷土の花・クロユリ

石川県（白山自然保護センター）では、気候変動による白山の生態系への影響を評価するため、環境省の事業（モニタリングサイト1000高山帯調査）を受託して、継続的に調査を実施しています。

【※環境省のモニタリングサイト1000について】

日本の自然環境の変化を明らかにするために、全国の様々な生態系で継続的に調査が行われています。（環境省HP）<https://www.biodic.go.jp/moni1000/purpose.html>

<主な調査項目>

（1）気温・地温調査



気温・地温を通年観測し、地温については、雪融け時期（積雪期間）の判定にも活用しています。

（2）開花調査



定点カメラを設置し、春～秋の植物の開花状況を追跡しています。

（3）植生調査



方形の調査区画を設定し、植物の生育状況の変化を継続的に調査しています。

（4）昆虫調査



高山性昆虫（チョウ類、地表徘徊性昆虫）の生息状況の推移を調査しています。



<石川県気候変動適応センター>

事務局：石川県生活環境部温暖化・里山対策室

電話番号：076-225-1462

メールアドレス：ontai@pref.ishikawa.lg.jp

URL：https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ontai/tekiou/